

事務事業名 クリクルセンター中間改修事業

区分	No	名称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる
施策	2	循環型社会の構築
小分類	3	一般廃棄物の適正処理
主要な施策	1	ごみ処理施設の適正な維持管理の推進
事務事業番号	010	事業開始年度 平成 22 年度 事業終了年度 平成 40 年度 会計種別 一般会計

部 名	市民生活部	グループ名	環境対策グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	クリクルセンター延命化のための計画的な改修を行い、効率的なごみ処理を推進することを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	供用開始から10年以上が経過したクリクルセンターについて、施設延命化のため、計画に基づいた改修を行った。 <b>【事業実績】</b> ・焼却処理施設改修工事 182,700千円 ・破碎・資源化処理施設改修工事 15,750千円
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	クリクルセンターの延命化及び、費用負担の平準化を図るため本年度も引き続き、焼却処理施設、破碎・資源化処理施設の計画的な改修を行う。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

事業費（財源内訳）の推移









《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円	128,200	188,600	164,600	164,600	164,600
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	5	9,850	18,355	18,355	18,355
事業費 合計			128,205	198,450	182,955	182,955	182,955

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	各年度の事業達成率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100			
		目標値						
		実績値						

工事前	住所	登別市幸町2丁目5番地	工事後
焼却施設			焼却施設
	ごみクレーン	ガス冷却室排ガスダクト	
			ごみクレーン
			
			ガス冷却室排ガスダクト
化破施設・資源			化破施設・資源
	カレット残渣シュート	手選別室コンベアベルト	
			
			カレット残渣シュート
			手選別室コンベアベルト

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	→	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 一般廃棄物の処理は市町村責任で行うことから施設の改修計画についても市が行う。
		民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
		国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
		国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	→	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 施設の長寿命化によるライフサイクルコスト構造の改善に寄与する。
		市民アンケートの結果から必要性が高い	
		社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
		市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	→	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 工事実施に係る経費は必要最小限の内容で構成されている。
		市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
		多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
		将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	→	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 平成23年度の工事は計画とおり事業を実施できた。
		市民、団体等の声から成果を感じられる	
		目に見える形で成果があがっている	
		成果の把握は困難である	

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	本事業を計画に沿って推進することにより施設の適正な運営ができることから、十分な効果を上げているため必要不可欠な事業である。
----	----------------------	---

行政評価会議による評価

維持	備考	
----	----	--